

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-28 □支援部門		伝統鎌倉彫振興事業				
主管課	産業振興課	関連課					
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	伝統的工芸品である鎌倉彫産業の振興を図る。						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	1,688	1,678	3,753			
	(国・県)						
	(負担金等)	790	780	812			
	(一般財源)	898	898	2,941			
	人員配置数	0.1	0.1	0.1			
	人件費(千円)	916	919	962			
事務事業運営経費	総事業費(千円)	2,604	2,597	4,715			
	市民1人当りの経費(円)	15	15	27			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
鎌倉彫生産額	△	目標値	970,000千円	970,000千円	970,000千円	970,000千円	-
		実績値	950,000千円	950,000千円			

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
伝統鎌倉彫振興事業	1,688千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	鎌倉彫振興事業所の維持管理 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う事業に要する経費の一部を助成する。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性		⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長代理評価)				
H22年度の課題	将来に向けた新たな需要喚起や市場開拓。			
課題解決のための取組	伝統鎌倉彫事業協同組合が新製品の検討を行った。			
未解決の課題	今後も継続して需要喚起や市場開拓をしていく必要がある。			
今後の方針	伝統鎌倉彫事業協同組合と連携を図り、伝統的工芸品としての技術の伝承及び地場産業振興を図るため、支援を行う。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ B	※ □事業完了	課長代理名 竹沢 至

